

2019年6月16日

「はじめてのキリスト教」説教要約

キリストが下さるもの

(使徒8・14～24)

一、サマリヤでの出来事

14節をご覧ください。へさて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことは受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。と書かれています。

エルサレムから追放された弟子たちの内、サマリヤに出て行った者たちがいました。伝道者ピリポ(イエスの十二弟子の一人であったピリポとは別の人物)はサマリヤで、キリストによる救いを語りました。すると、多くのサマリヤ人がイエス・キリストを救い主として信じるという出来事が起こりました。それを知ったエルサレムの教会は、使徒ペテロとヨハネをサマリヤに遣わしました。それが、14節の背景です。

二、「聖霊を受けるように」

15節をご覧ください。へふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。とあります。《聖霊を受けるように祈った》とは、どういう意味なのでしょう。著者は何を語ろうとしたのでしょうか。聖霊は神の霊であり、父・子・聖霊なる神の第三位格です。すなわち、聖霊なる神です。イエス・キリストを信

じるのは聖霊の働きです。なのに、意味不明の文章が16節に書かれています。

《彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。》と。考えられるのは、「聖霊が下ることについて、著者が特別なものを思い描いていたことです。著者が考えていたのは、目に見える特別な現象であったと考えられます。と言いますのは、17節に次のように書かれていますからです。《ふたり(ピテロとヨハネ)が彼ら(バプテスマを受けたサマリヤ人)の上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。》と。イエス・キリストを信じるときに働かれる聖霊の働きとは別の聖霊の働きを著者が思い描いていたと受け止めるのが自然です。それは何だったのでしょうか。おそらく、最初に聖霊が降られたときの出来事です。この時の《彼らは聖霊を受けた》は、だれにでも分かる、魅力的なものだったのであります。《と》と言いますのは、サマリヤの魔術師で、イエス・キリストを信じて洗礼を受けたシモンが次のように語っているからです。18節、19節です。《使徒たちが手を置くと御霊が与えられるのを見たシモンは、使徒たちのところに金を持って来て、「私が手を置いた者がだれでも聖霊を受けられるように、この権威を私にも下さい」と言った。》と。

三、救われるとは？

イエス・キリストを信じると救われます。神は、信じた人を、罪赦された者としてご覧になられます。ですが、救いがその人の内に浸透して行くのは時間のかかることです。ここに登場する魔術師シモンは、彼なりにイエス・キリストを信じてバプテスマを受けました(使徒8・13)。しかし、シモンの心には悪魔が住んでいました。彼の関心は次のようなものでした。「自分が行ってきた魔術を超えるものがピリポ先生を通してあらわれている。さらに、エルサレムからやって来た偉い先生方はピリポ先生を超える業を行っている。自分もほしい。金で手に入るなら金を出そう」と。

シモンに対して、使徒ペテロは言いました。20節です。《あなたの金は、あなたとともに滅びるがよい。あなたは金で神の賜物を手に入れようと思っているからです。》と。また、魔術師シモンの動機を見抜いて、すなわち霊を見抜いて、次のように語りました。22節、23節です。《だから、この悪事を悔い改めて、主に祈りなさい。あるいは、心に抱いた思いが赦されるかもしれません。あなたはまだ苦い胆汁と不義のきずんの中にいることが、私にはよくわかっています。》と。

ここで一緒に考えてみましょう。魔術師シモンは救われたのでしょうか。

それは、神だけがご存じの領域です。もし、私共の周りに魔術師シモンの現代版のような人がいて、イエスを信じているとは言うものの、やたらしるしと不思議を求めている方がいたら、その人は救われているのでしょうか。それは、神が判断する領域です。

では、神は私共の様々な問題を見逃すのでしょうか。そのようなことはなさいません。キリストが私たちに代わって聖なる神からの罰を受けてくださいましたので、私共が行うべきはイエス・キリストを信じて方向転換をする、すなわち悔い改めることです。ゆえに、使徒ペテロと使徒ヨハネは魔術師シモンに厳しく問うたわけです。それに対するシモンの反応はどうだったのでしょうか。24節です。《シモンは答えて言った。「あなたがたの言われた事が何も私に起こらないように、私のために主に祈ってください。》と、著者はシモンのことを描いています。私は思います。もし相手がアナニヤとサツピラのような聖書の言葉を知るユダヤ人信者であったら、即刻死んでいたかも知れない。著者はシモンを愛らしく描いています。救いとは何なのでしょう。それは、主イエス・キリストを、伝えられた教えの基準に沿って信じ、受け入れることです。そこから外れてしまうなら、失格です。